

# IGER SEMINAR

Integrative Graduate Education and Research Program in Green Natural Sciences

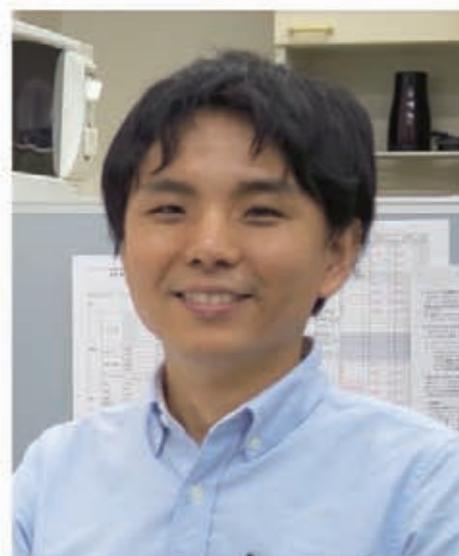
2016 7.14 Thu 16:30 -  
農学部第8講義室

## “フロリゲンの分子機能”

辻 寛之 先生 (横浜市立大学 木原生物学研究所・准教授)

フロリゲンは植物に花芽を作らせる植物ホルモンであり、葉で合成されたのちに茎頂メリステムまで輸送されて機能する。美しい花とその後の実りをもたらすフロリゲンは多くの研究者を惹きつけ、日本でも古くは故・木原均博士に由来するアサガオを用いたユニークな研究が展開されてきたが、その正体は長い間謎に包まれてきた。しかし最近の分子遺伝学の発展から、フロリゲンは当初想定された低分子化合物ではなく、FTと呼ばれる遺伝子にコードされたタンパク質であることが明らかとなった。私達はフロリゲンの受容体を発見、活性本体となる複合体を同定して、これに強い証明を与えることができた。

私たちはフロリゲンの新しいサイエンスを目指して、世界唯一と言えるフロリゲン生体イメージング系、独自のメリステム単離技術と次世代シーケンサーを組み合わせた大規模解析系などをこつこつ開発してきた。本セミナーでは、これらの研究から解明したフロリゲンの分子機能の新しい理解について紹介したい。



博士課程教育  
リーディング  
プログラム  
Program for  
Leading  
Graduate Schools

問い合わせ先：生命農学研究科 植物遺伝育種学研究分野 中園幹生（内線 4017）